

月例研修会・レポ

矢田寺のアジサイ・矢田丘陵（松尾寺）  
を散策しよう（変更）→  
矢田寺から矢田坐久志玉比古神社へ

有元 康人

6月14日（火）朝から霧雨の中、13名の参加で始まりました。今回は、雨天で予定を短縮（矢田丘陵の松尾寺までの散策を中止）して行われましたが、臨時バスで矢田寺まで行くと雨もあがり最高、矢田寺まで長い石段を一步一步踏みしめて、登っていきました。

ならやまで鍛えた皆さん、元気いっぱい。

石段の上からは、大和郡山市が一望でき、前は雨上がりのアジサイ、素晴らしい景色です。



最初に60種一万株のアジサイを鑑賞。

矢田寺では、この時期だけの特別拝観が行われており、本堂に入ってみました。



矢田寺は、天武天皇の命で、智通僧正（玄宗三蔵に法相宗を学び日本に伝えた）が開基されたお寺で、本堂に安置された、中央の地藏菩薩立像、左の十一面観音立像、そして右の吉祥天立像の三尊を仰ぎ祈ってきました。

一方で閻魔堂があり、中央に閻魔大王がおられ、両脇に十王がおられます。三途の川を渡るためには、六文を渡し、その後五十七日の裁判

を受け、地獄行きが決まるそうです。

心配な方は、矢田山に行き、内容を確認されたほうが良いと思います。

本堂前に、菩提樹の木があり、クリーム色の花が下向きに咲いていました。会員のYさんによると、仏教の菩提樹は日本では気温が低く、育たないそうで、この木は別の種類だそうです。葉の下から下向きに花が咲き、種ができると、葉がプロペラになり飛んでいきます。



矢田寺を出て、次の見学予定の、やたにいますくし たまひこじんじや矢田坐久志玉比古神社に行きました。楼門の上に戦闘機のプロペラがある珍しい神社。



物部氏の祖神といわれている、くしたまにぎはひのみこと櫛玉饒速日命に関する伝承が残る。天孫降臨に先だって、ニギハヤヒノミコトが天磐船から3本の矢を射てその2本目が、楼門に落ちた場所とされています。それでこの地が「矢田」と呼ばれる由来です。

境内で昼食をしていると雨がポツリ、急いで13時16分のバスで退散、短縮例会になりましたが、13名全員楽しめたと思います。